



衆議院政治倫理審査会 会長
衆議院議員／第10代復興大臣

田中かずのり (和徳)

1. 航空燃料不足の現状と対策計画の概要

現状

航空燃料の不足

航空機用のジェット燃料が不足し、海外の航空会社が日本行き路線の増便や新規開拓を見送る事例が続出

訪日外国人誘致への悪影響

日本行き路線を増やせないことが訪日外国人誘致の阻害要因となり、多大な機会喪失に繋がりがねない

原因

■ コロナ禍による航空燃料生産能力の低下

コロナ禍で航空産業が極度に低迷し、航空燃料の需要が急速に激減した結果、製油所の統廃合と燃料の精製能力の低下が進み、回復が追いついていない。

■ 人手不足によるロジスティクス能力の低下

製油所から空港まで燃料を輸送する物流スタッフ、空港の給油作業員など、人手不足の影響で航空燃料の輸送力や空港の処理能力が低下している。

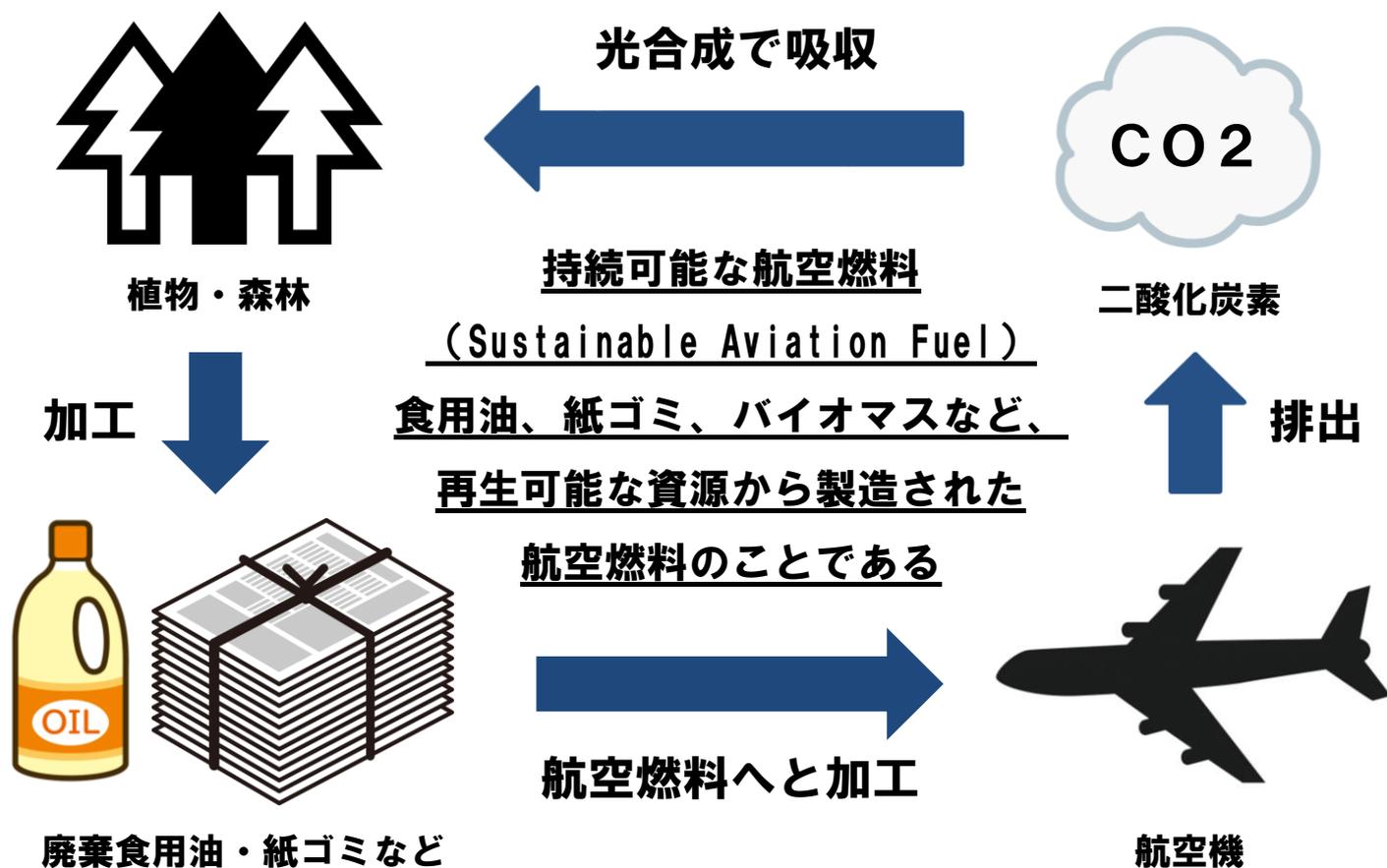
— 国交省やエネ庁、航空・空港・石油・海運事業者で協議して対策計画を策定

対策

航空燃料供給不足に対する行動計画の概要

- ① 短期的には、石油・運輸事業者との連携を強化して燃料供給量を確保し、事業者の相談窓口を設置する
- ② 長期的には、貯蔵施設や輸送インフラの整備など、航空燃料の供給・輸送体制を底上げしていく

2. 持続可能な航空燃料（SAF）の普及に向けて



SAFのメリットとデメリット

- メリット① 通常の燃料と比べて、CO₂排出量を5～8割削減。
- メリット② SAFの成分は、通常の航空燃料とほぼ同じなので、専用の航空機や貯蔵施設などを整備する必要がない。
- メリット③ SAFは原料を国内で調達でき、国内生産が可能。

デメリット 製造コストが高く、通常の航空燃料価格の2～16倍

航空分野では2050年にカーボンニュートラル達成という国際目標があり、その実現には、SAFの低廉化と利活用に向けた大規模供給網の構築が重要。そのため、政府と石油・航空・空港・物流事業者などが協議を進めている。

川崎事務所

川崎市川崎区小田6-11-24

TEL. 044-366-1400 FAX 044-366-1138

国会事務所

東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1010号室

TEL. 03-3508-7294 FAX 03-3508-3504

H P

